（一部抜粋）

サステナビリティ経営方針

2026年9月

株式会社長岡組

代表取締役　長岡　開

サステナビリティへの対応

◆サステナビリティへのアプローチ方法は以下の通りです。

・「社会性」や「事業性」の視点から、自社や自社を含めたサプライチェーン、さらには地域社会の「サステナビリティ」の向上を実現するために取り組むべき課題をピックアップしています。
・そのピックアップした課題の中で、「サステナビリティ」に特に効果・影響のある課題を【重要課題（マテリアリティ）】として選定しています。。
経営目標やアクションプランを定め、具体的に取り組むことで、自社の持続的な成長や持続可能な社会の形成を実現します。

◆サステナビリティ経営方針策定において、以下の内容を実施しています。

事業性の視点

・ビジネス面の情報整理
当社の事業実績や事業特性等から当社事業のSDGsとの相関性や取り組み内容を整理するとともに、ビジネス面における課題を整理しています。

社会性の視点

・SDGs取り組み評価
当社のSDGs取り組み状況やステークホルダーへの影響を整理するとともに、SDGsの取り組みにあたり、その課題を整理しています。

マテリアリティの選定

・取り組み効果の検討
「社会性」と「事業性」の視点から、サステナビリティへの取り組み効果を検討しています。
・マテリアリティの選定
サステナビリティへの効果を踏まえ、マテリアリティを選定しています。

マテリアリティへの取り組み

・アクションプランやKPIの設定
アクションプランやKPI（目標と指標）を設定することで、計画的かつ効率的・効果的にマテリアリティに対応します。
・社会、経済価値の創出
マテリアリティへの対応によるサステナビリティ経営を通じ、持続可能な社会を実現します。

サステナビリティ経営方針

世界の状況と企業への期待

現在、世界は気候変動等の環境問題の深刻化、格差や貧困の拡大、感染症の拡大、紛争の勃発等、難題に直面しており、企業を取り巻く環境も急速に変化、多様化、複雑化しています。その様な状況のもと、当社は企業には「持続可能（サステナビリティ）な社会の実現」に貢献する社会的責任があると認識し、環境負荷低減、人権尊重等に取り組んでおります。また、近年、SDGsへの関心の高まり等、社会課題の解決に向けた企業への期待も高まっております。

当社事業の意義

工場等で必要とされる各種架台、台車、治具、パレット等の設計・製作・設置、工場の新増設やレイアウト変更で必要とされる各種工作機械・工事設備等の解体・撤去、設備機械・各種タンク・什器類等の運搬・据付等の事業は、安全性の高い産業インフラの整備や生産の効率化を実現するために重要な役割を果たしています。また、企業の生産活動を支え、産業の発展や地域経済の活性化、安全かつ持続可能な社会の実現に貢献しています。

今回の検討結果

当社は、化学工業を中心に、安全性の高い産業インフラの整備と生産効率の向上に貢献しています。一方、持続的な成長のためには、人手不足が深刻化する中で、多様な人材がモチベーション高く働くことのできる職場環境の整備、継続的な取引関係を維持するための製品・サービスの安定供給が必要です。また、環境課題への対応として温室効果ガス排出量の削減等に取り組むほか、経営基盤の強化を図ることも持続的な成長を実現するために重要と考えます。そこで、次の四つを重要課題（マテリアリティ）として、取り組みを充実・強化してまいります。



サステナビリティへの具体的な取り組み

マテリアリティ

働きやすい職場環境づくり

選定理由

従業員がやりがいをもっていきいきと働くことのできる職場環境づくりに取り組むことは、持続的な成長を実現するために不可欠であることからマテリアリティに選定

アクションプラン

- 人権尊重・差別禁止等のルールの策定
- ハラスメント禁止や安全衛生等に関する研修の実施
- 資格取得支援制度の見直し（拡充）
- 「生き活き健康事業所宣言」に向けた取り組みの実施
- 定期的な個別面談の実施

取り組み効果

- 人材の確保・定着
- 生産性の向上



KPI（目標と指標）

- 人権尊重・差別禁止等に関するルールの策定（2027年度まで）
- ハラスメント禁止等に関する研修の実施（年1回）
- 取得資格数（毎年1件以上）
- 「生き活き健康事業書宣言」の実施（2027年度まで）
- 労働災害発生件数（年間0件）
- 定期的な個別面談の実施（四半毎）

マテリアリティ

製品・サービスの安定供給

選定理由

高品質な製品・サービスを継続的に提供することは、持続的な成長を実現するために不可欠であることからマテリアリティに選定

アクションプラン

- ヒヤリハット情報の集約、作業・検査手順書・マニュアルの整備・見直し
- 不具合発生時の対応手順等の見直し
- 事業継続計画の策定
- 事業継続計画に関する研修・訓練等の実施

取り組み効果

- 企業競争力の向上
- 企業信用力の向上



KPI（目標と指標）

- 事故発生件数（年間0件）
- 不具合発生時の対応手順等の見直し（年1回）
- 事業継続計画の策定（2026年度）
- 事業継続計画に基づく研修・訓練等の実施（年1回）

サステナビリティへの具体的な取り組み

環境負荷の低減

マテリアリティ

選定理由

温室効果ガス排出量や産業廃棄物の削減等の社会課題の解決に取り組むことは、持続的な成長を実現するために不可欠であることからマテリアリティに選定

アクションプラン

- 温室効果ガス排出量の把握、削減目標の設定、削減対策（省エネ、再エネ導入等）の実施
- 産業廃棄物排出量の把握、削減目標の設定、削減対策の実施

取り組み効果

- 企業価値の向上
- 生産性の向上



KPI（目標と指標）

- 温室効果ガス排出量（前期比3%削減）
- 産業廃棄物排出割合（排出量/仕入量）の削減（前期比3%削減）
- 紙使用量の削減（前期比3%削減）

経営基盤の強化

マテリアリティ

選定理由

経営基盤の強化に取り組むことは、持続的な成長を実現するために不可欠であることからマテリアリティに選定。

アクションプラン

- 経営理念・社訓を浸透させるための取組の実施
- 公正取引・情報管理等の法令遵守に関する研修等の実施
- 内部通報の仕組み導入

取り組み効果

- 企業価値の向上
- 企業信用力の向上



KPI（目標と指標）

- 経営理念等に関する研修の実施（年1回）
- 法令遵守に関する研修の実施（年1回）
- 内部通報の仕組みの導入（2026年度）